

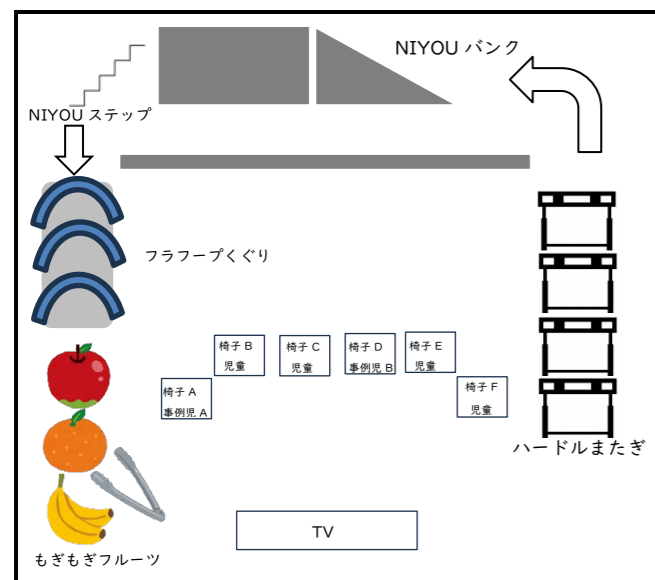
# 授業づくりシート

領域名 自立活動

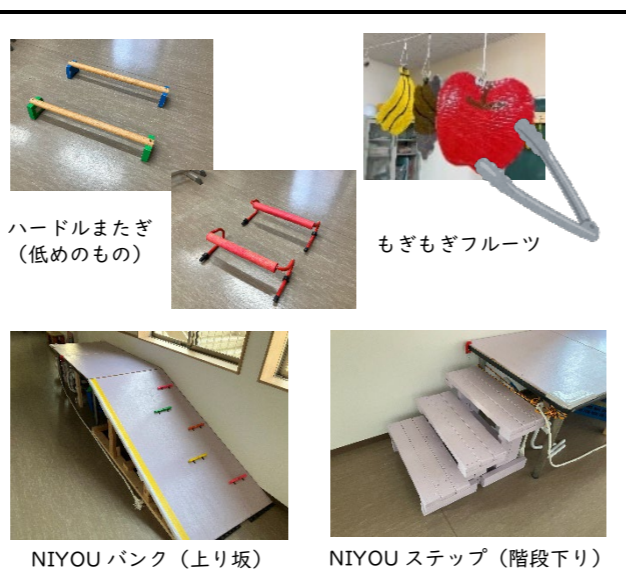
5 学年

| テーマ              | 身体各部をたくさん動かそう！   |   |
|------------------|--|---|
| 事例児の実態           | A児   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩く、走る、跳ぶ、蹴るなどの動きを行うことができる。(身体の動き)</li> <li>・手本を見ながら真似しようとする事ができる(身体の動き・環境の把握)</li> <li>・斜視。立体感や距離感がわかりにくい。(身体の動き・環境の把握)</li> <li>・初めてのことや難しいことには挑戦することを嫌う。(心理的な安定)</li> </ul> |
|                  | B児   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・左手で物を握ったり離したりすることができる。(身体の動き・環境の把握)</li> <li>・視覚からの情報で簡単な物事を理解できる。(環境の把握)</li> <li>・右手、右足に麻痺があるため細かいことや、運動に制限がある。(身体の動き)</li> <li>・ボディイメージはあまりない。(身体の動き・環境の把握)</li> </ul>     |
| 事例児の個別目標         | A児   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・手と手、手と足など体の様々な部分を協応させながら、身体を大きく動かすことができる。(身体の動き・環境の把握)</li> <li>・上にある物を見ながら、道具を使って物を取ることができる。(身体の動き・環境の把握)</li> <li>・様々な動きに取り組み、自分でできる動きを増やすことができる。(身体の動き)</li> </ul>         |
|                  | B児   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・右足を軸足に、左足を上げて高さのあるものを超えることができる。(身体の動き・環境の把握)</li> <li>・高い位置の物を、腕を伸ばして取ることができる。(身体の動き・環境の把握)</li> </ul>  |
| 活動内容と具体的な手立て     |  |   |
| 活動内容             | ねらい  | 具体的な手立て   |
| 準備体操<br>「ふりふり体操」 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体の部位を意識して動かすことができる。</li> <li>・次の活動に向けて、身体を動かす準備することができる。</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・TVで体操の手本動画を流し、一緒に踊れるようにする。また、再生速度を遅くすることで一つ一つ確認しながら踊れるようにする。</li> </ul>   |
| サーキット運動          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・五つの活動(ハードルをまたぐ、坂を上る、階段を下りる、フラフープをくぐる、頭上の物を取る)の中で全身を使って様々な動きに取り組むことができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で取り組める児童には、初めに手本となる動きを示すようにする。支援が必要な児童は教師や介助員が隣について取り組むようにする。</li> </ul>  |

## ○場の配置



## ○教材教具等



## ○展開

| 時配    | 活動内容      | 教師の支援等   |
|-------|-----------|--|
| 9:50  | ○挨拶       | ・TVが見える位置に椅子を置き、座らせる。  |
| 9:51  | ○内容の説明    | ・スライドを映し、活動内容の確認を行う。   |
| 9:52  | ○「ふりふり体操」 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画を再生し、事例児Bの支援を行いながら体操を進める。(T1)</li> <li>・2回目の体操を行い、1回目支援ができなかった児童にT1もしくはT2が付いて一緒に取り組む。</li> </ul>   |
| 9:57  | ○サーキット    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・手本を見せる (T1) 児童掌握 (T2)</li> <li>・事例児Aは見守り、事例児BとFは歩行の不安定があるのでT1かT2が支援を行う。</li> <li>・NIYOU バンク(上り坂)と NIYOU ステップ(階段下り)に取り組む児童は怪我のないように見守りを行う(T1&amp;T2)</li> <li>・事例児BはNIYOU バンク(上り坂)で足の裏面をしっかりと付くように、ゆっくり足を運ぶ支援をする。</li> <li>・フラフープくぐりは、マットに四つ這いになるように促し、頭や腰がフラフープに当たらないようにくぐって進むように支援を行う。(T1orT2)</li> <li>・もぎもぎフルーツは、事例児Aはトングを使い、小さい対象物を取るよう指示をする (T1orT2)</li> </ul> |
| 10:10 | ○挨拶       | ・T1に注目させ、挨拶を行う。  |

## ○成果と課題

- もぎもぎフルーツは高さが少しずつ違うため、初めは一番低いりんごを取っていても、次はみかん、ばなな等、繰り返し行う中で自然と体を伸ばし、高い位置にある果物を取ることができるようになった。
- トングを使用したことで、身体を伸ばしながら対象物を挟み、持ち続けることができるようになった。
- 五つの活動を行うことで、全身を使った運動を飽きることなく楽しみながら行うことができた。
- 教員が2名と少ないときは、掌握に1名取られてしまうため、児童の活動量が減ることがあった。
- 慣れから動きが雑になってしまい、本来狙おうとしている動きをしていないことがあった。